

編集後記

- ◇ 1月25日、茨城県茨城町の学友である勝山 高さんから、「茨城県内の道の駅や産直売店のどこにいても“いも”が並べられ、干しいも、焼きいもと種類も多彩です。“いもブーム”ですね。それにしても干しいも作りは大変で、1kg当たり1,200～2,000円と、値が高いのも仕方ないですね。」、との便りをいただく。

3月5～6日、干しいも文化の発信と本業界の発展を目的に、「第1回世界ほしいも大会inひたちなか」が茨城県ひたちなか市で開催された。トークイベント、パネルディスカッション、干しいも産地からの発表、製品展示などがあり盛況であった。

現在、いも類振興会では、『干しいも事典』の編集に取り組んでいる。その編集作業からも、静かな“干しいもブーム”の始まりを実感している。

- ◇ 相変わらずマスコミなどから、焼きいもに関する取材や問い合わせが多い。

例えば、1月27日のテレビ番組、TOKYO MX1「5時に夢中」でも、“なぜ、石焼きいもの軽トラによる引売り屋台が少なくなったのか”が取り上げられ、筆者もその応答者で出演した。また、日本経済新聞社からも、焼きいもについて取材を受けた。それが「焼き芋人気で需要増」「サツマイモ高く」のタイトルで、2月19日の同紙夕刊に掲載された。

- ◇ 2015年11月15日、野國總管甘藷伝来410年を記念し、沖縄県嘉手納町で野國總管甘藷功労賞の授与式および甘藷フォーラムが盛大に開催された。同時に、全国甘藷紹介コーナーも設けられ参加者の関心と呼ぶ。

そこで、本誌No.127では、「2015年野國總管甘藷伝来410年記念」の特集を組んだ。野國總管の遺徳に思いを馳せつつ、甘藷の夢を語り合う有意義な一日となった。その記念行事について取りまとめたので、一読いただきたい。

なお、パネルディスカッションで伊波勝雄さんから、「野國總管甘藷記念館」建設が提案された。その後風の便りで、當山宏嘉手納町長、町議会議員の皆さんが、この件を前向きに受け止めておられると聞く。記念館建設の実現を期待したい。

- ◇ 3月24日、いも類振興会の平成27年度通常理事会が開催され、平成28年度の事業計画および収支予算書の承認をえた。

平成28年度は、世界的な政治・経済情勢に不安材料がみられるほか、地球温暖化などでいも類を含む農産物への影響も懸念される。これらの動向を注視しつつ、平成28年度もサツマイモ、ジャガイモに関する情報を提供してまいりたい。

(狩谷 昭男)

いも類振興情報 第127号

2016(平成28)年4月15日発行

定価 1部 500円
年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225

E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社